

第15回

JDA 春期ディベート大会

「日本政府は原則全ての企業に対してワークシェアリング又は同一労働同一賃金の原則を推進すべきである。」

2009年3月8日

日本ディベート協会

(Japan Debate Association)

ごあいさつ

JDA 春期ディベート大会ようこそ

政策ディベートでは、外国の先行例などを参照することは大変重要です。とりわけ日本で行われたことのない政策プランの効果（解決性・リンク）について考える際には、これがいえます。似たような政策を行った先行例でどの程度の効果が得られたのか、それが成功した条件は何か、あるいは逆にマイナスの副作用があったのかなどを考慮することは、政策ディベートの基本ともいえます。

ワーク・シェアリング等の労働問題について考えるときの先行例というと、やはりオランダ社会でしょう。しかし考えてみると、オランダというのはいろんなディベートで先行例としてとりあげられますね。安楽死ディベートしかり、育児休業しかり、エネルギー問題しかり。売春のみならず大麻までがなかば公認されている自由放任主義と、全く裏腹にも見える大胆な公共事業や社会福祉政策。個人を尊重しつつも、公の約束を先進的に作りだし、それを重視する価値観が広く根付いている社会なのかもしれません。

この大会のディベートでも、表面的に同じ制度を導入しても、日本で社会問題が解決するのか、それともしないのかの問題になるでしょう。死後 150 年、ますます読み直されるアレクシス・ド・トクヴィル（フランスの貴族・政治家・学者）にならって言えば、制度の成功の鍵は、社会の背後にある価値観（「心の習慣」）が鍵を握るということになります。そうした価値観は、短期ではなかなか変化しないものです。日本で最終的にワーク・シェアリングは定着するのでしょうか。そして日本で、ディベート教育が普及することは、長期的にこうした社会的な政策決定を左右する価値観を変えうるのでしょうか。社会学者としてもディベート教育者としても、そして家族を持つ職業人としても、興味津々です。

矢野善郎

矢野 善郎：日本ディベート協会会長

フォーマット

肯定側第一立論	6分
否定側質疑	3分
否定側第一立論	6分
肯定側質疑	3分
肯定側第二立論	6分
否定側質疑	3分
否定側第二立論	6分
肯定側質疑	3分
否定側第一反駁	4分
肯定側第一反駁	4分
否定側第二反駁	4分
肯定側第二反駁	4分
準備時間：各チーム	8分

スケジュール

08:50～	開会式
09:05～	予選第一試合
10:45～	予選第二試合 (予選第二試合終了後、昼食)
13:00～	予選第三試合
14:50～	予選結果発表
15:00～	決勝戦
16:35～	決勝戦コメント・表彰～閉会式
17:15	終了

※スケジュールは、当日の進行状況により、多少前後する可能性がありますのでご了承ください。

出場者・見学者の皆様へ（必ずお読みください）

- ・ センター内は全面禁煙です。喫煙所以外での喫煙は固く禁止します。
- ・ センター内は飲食禁止です。お食事は食堂（カフェテリアふじ、喫茶フレンズ等）をご利用ください。
- ・ 携帯電話、PHS 等は、試合中呼び出し音が鳴らないよう設定してください。
- ・ スピーチ中の試合会場への入場・退出はご遠慮ください。見学は試合の妨げにならないよう、お静かに願います。ヤジは禁止です。
- ・ 試合の録音・録画については基本的に自由ですが、以下の三点をお守りください。1. 出場者の許可を得る（出場者の方はなるべくご協力ください）。2. 授業・講義・クラブ活動での使用に限る。3. 他の方にダビングしない。